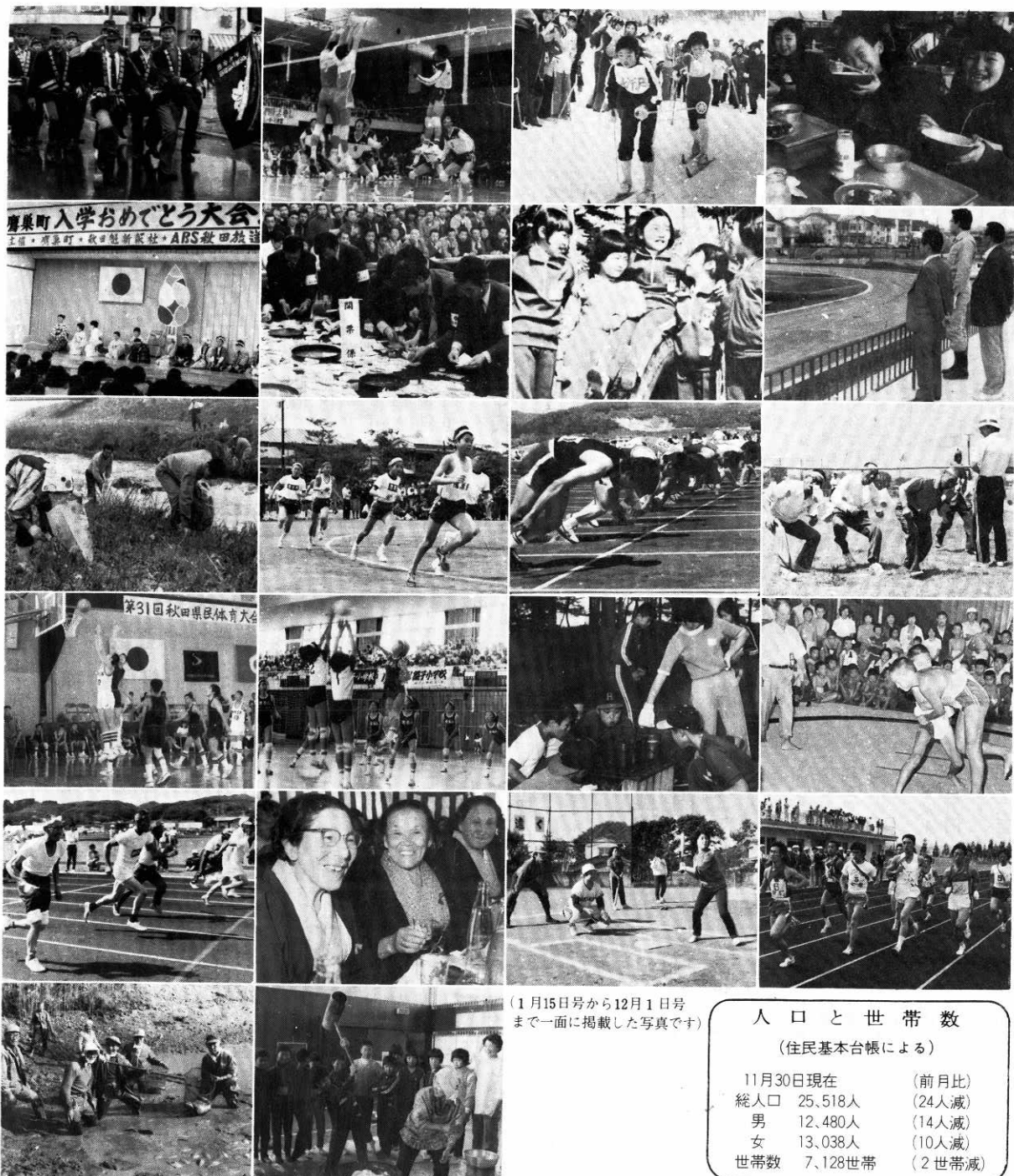


たかのす

12月15日

№.446

昭和44年5月14日 第3種郵便物認可(1部20円) 発行日 毎月1日・15日



(1月15日号から12月1日号まで一面に掲載した写真です)

人口と世帯数
(住民基本台帳による)

11月30日現在	(前月比)
総人口 25,518人	(24人減)
男 12,480人	(14人減)
女 13,038人	(10人減)
世帯数 7,128世帯	(2世帯減)

第八回臨時町議会

冷害の救農事業を決める

枝打ちなどに三千三百万円余り補正

冷害による救農対策事業費などを審議する第八回臨時町議会は十二月一日に開かれ、救農のための町有林の除伐、枝打ちなど冷害対策事業費三千三百七十一万二千円と、工事請負契約締結二件を決め閉会しました。

「一般会計総額で46億6千万円に」

▽一般会計補正予算

一般会計は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ三千三百七十一万二千円を追加し、歳入歳出の総額は四十六億二千九百六十九万三千円となりました。

追加したのは、全額冷害被害農家のための冷害対策事業費で、内訳は次のとおりです。

徳右工門谷地間伐貸金二百三十二万七千円、坊川学校林保育七十一万八千円、中小又沢、湯繰舟沢除伐二百四十七万四千円、彦十郎谷地、湯繰舟沢、徳右工門谷地枝打四百二十万八千円、原材料砕石百八十九万円、冷害用種子奨励補助金百五十七万五千円、冷害対策指導事業費補助二百万円、共済組合冷害対策運営費補助百五十五千

石川徳治
▽第三工区Ⅱ延長八十一戸
▽工事費Ⅱ一千九百九十五万円
▽請負者Ⅱ有限会社大川建設 大川仁吉郎
※工事期間は、いずれも十二月二日から明年三月二十日まで。

全地域が稲作冷害の指定受ける

融資額は三億一千五百万円

県は十一月三十日、稲作冷害に伴う天災融資法に基づき、特別被害地域(旧町村単位)を指定しましたが、当町は全地域が指定を受けました。

「都市下水道工事四百七十九戸発注」

▽工事請負契約締結

中谷地区の都市下水道工事、延長四百七十九戸を総額一億一千五百八十八万円で、沢の三工区に分け工事をすすめています。

▽第一工区Ⅱ延長二百四戸
▽工事費Ⅱ四千八百九十八万円
▽請負者Ⅱ株式会社津谷組 津谷栄七

▽第二工区Ⅱ延長百九十三戸
▽工事費Ⅱ四千六百九十五万円
▽請負者Ⅱ石川建設株式会社

・六%で貸付期間は二十年、限度額は百五十万円となっていますが、五十一年冷害と重復する場合は二百五十万円となっています。

町では、各農協を通して天災資金と自作農維持資金の融資申し込みを受けていますが、十二月定例町議会で審議する利子補給などが決定次第、各農家には年内に融資することになっております。

各農協別の配分額は次のとおりです(カッコ内は自作農維持資金)
▽鷹巣Ⅱ八百九十四万円(七百五十五万円)
▽栄Ⅱ二千三百四十一万円(一千九百七十七万円)
▽西部Ⅱ五千三百三十七万円(四千三百三十八万円)
▽沢口Ⅱ三千八百四十三万円(三千二百四十五万円)
▽綴子Ⅱ五千三百四十四万円(四千五百十三万円)
▽七日市Ⅱ四千九百四十一万円(四千七百七十二万円)

冷害対策に農協へ一億一千万円預託

町では、冷害対策の一環として、各農協から要請のあった総額一億一千万円を、十一月二十七日に町内六農協に預託しました。

預託は、水稲共済金が支払われる十二月二十日ごろまでの予定で、各農協への預託金額は次のとおりです。

▽鷹巣Ⅱ一千万円
▽栄Ⅱ一千万円
▽西部Ⅱ二千三百万円
▽沢口Ⅱ二千万円
▽綴子Ⅱ二千五百万円
▽七日市Ⅱ二千二百万円

町長日誌

11月16日～11月30日

16日 全県家庭婦人バレーボール大会

17日 商工会法施行二十周年記念祝賀会

19日 健康大学開校式

20日 地域農業組織化総合指導事業推進協議会

22日 住居表示説明会

24日 旭町墓地移転供養式

24日 渡辺勝蔵氏勲五等双光旭日章受章祝賀会

25日 結婚披露宴合理化推進協議会

26日 上舟木生活改善センター竣工式

27日 綴子土地改良区事務所竣工式

27日 国道一〇三号線直轄改築期成同盟会Ⅱ大館市

28日 鷹巣保健所運営協議会

29日 明日の郷土づくりシンポジウムⅡ秋田市

30日 住居表示説明会

議 会 日 誌

11月16日～11月30日

17日 商工会法施行二十周年記念祝賀会

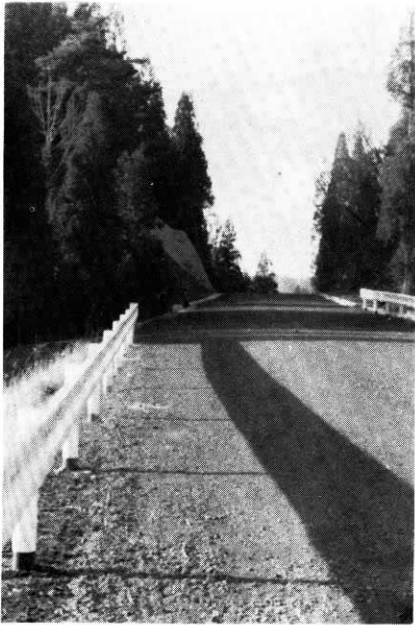
19日 決算特別委員会

20・21日 産業経済常任委員会

20・21日 教育民生・総務常任委員会所管事項調査Ⅱ上山市、秋田市

27日 国道一〇三号線直轄改築期成同盟会

27・28・29日 決算特別委員会



供用が開始された七日市バイパス

七日市バイパス完成

＝距離は約半分に短縮＝

グーンと便利に

- ▽… 昨年の六月から急ピツ…
- ▽… チで工事を進めていた町…
- ▽… 道七日市―松沢線七日市…
- ▽… バイパス工事(七日市農…
- ▽… 協前から妹尾館)は…
- ▽… 予定どおり十一月中に完…
- ▽… 成、十二月一日から供用…
- ▽… を開始しています。
- ▽… 七日市バイパスは、旧…
- ▽… 森林軌道に沿ってほぼ直…
- ▽… 線に結ばれたことから…
- ▽… 距離もこれまでの約半分…
- ▽… に短縮され、利用者には…
- ▽… グーンと便利になりました…
- ▽… た。

町道七日市・松沢線七日市バイパス工事は、県が町の代行事業として実施しているもので、区間は七日市農協前から妹尾館部落手前までをやや直線に結ぶ全長一千六百六十で、有効幅員は五・五。

この路線は、バイパス部分を除

き、全線が改良舗装され、七日市奥部との交通は大幅に短縮されましたが、この区間だけが幅員がせまいうえにカーブの連続で、同線では唯一のネックとしてバイパスの開通が望まれていたものです。完成した七日市バイパスは、これまでの道路とはまったく関係のない、旧森林軌道に沿って七日市農協から妹尾館部落手前まで、ほぼ直線に結んだもので、距離もこれまでの約半分に短縮され、この冬からの通行はグーンとらくになりました。

なお、現在は未舗装のまま供用を開始しておりますが、舗装工事は、来年度町の事業として施工する予定になっています。

また、これまでの事業費は、道路拡幅のための用地買収費に一千八百万円、工事費は、昨年度が延長五百四十で六千六百九十万円、今年度が延長六百二十で五千五百万円で、総事業費は一億三千五百九十万円でした。

小学生スキー教室

町スポーツ少年団と教育委員会共催の小学生スキー教室を開催します。

期日は、一月六日から十日までの五日間。時間は、午前九時三十分からと午後一時から、それぞれ二時間。

場所は、町営薬師山スキー場。くわしくは、教育委員会社会教育係(二―一―一 内線二六四)へお問い合わせください。

西暦	年号	事項
一八五〇	嘉永三	○ 大農政学者 佐藤信淵 八十二歳で歿す。
一八五一	嘉永四	○ 歌人三沢富子(大堤村)夫を失う。
一八五二	嘉永五	○ 鷹巣神社 現在の社殿 再建す。
		○ 五月二十五日大洪水
		○ 渡部斧松 鷹巣新川掘替工事を完成、終って小沼関口の工事に着手す。
		○ 新しく一溝を掘り、河水の勢を減す。成田秋齋、藩候よりその功を賞せらる(鷹巣)
一八五四	安政一	○ 三月 江戸表より役人 松前に下向 同日二十一日、綴子村に小休、大館へ通行
		○ 三月八日 天徳寺様 扇田寿仙寺にて授戒執行 八日綴子村寺にて止宿
		○ 小沼関口の水除工事流失、新たに水除土手 三百三十六間を築く(鷹巣)
		○ 八月 大館城代 江戸出府につき坊沢村肝煎 豊三郎家に宿陣す(坊沢)
		○ 九月七日 摩当村 今右工門火元にて久兵衛と三戸焼失す。
		○ 太田新田村鎮守 神明社社殿零落し 普請す(栄)
		○ 六月四日 渡部斧松 歿す。
		○ 吉田松陰が松下村塾を開く。
		○ 頼三樹三郎 男鹿に遊ぶ。
		○ 日米通商条約 仮調印
		○ 安政の大獄
		○ 板沢村、赤石村、出川村の三ヶ村 摩当入会山 新棒伐 許さる。(栄)
		○ 宝勝寺庫裡再建す。(綴子)
		○ 神宮寺 武内成運頭巾頭となる。(綴子)
		○ 麻生村駅馬場役所を新築す。(七座)

郷土史年表

(続く)

冬將軍到来



除雪にご協力を!!

厳しい冬將軍がやってきました。町では、除雪により住民の活動が途絶することのないよう、この冬も除雪対策本部を設置、冬期間の交通確保に万全を期しています。

この冬の、町内の除雪延長は二百六十三・一キロ。これを国が国道七号線二十五・一キロ、県が県道小森・比内線など五十八キロ、町が残る百八十キロを除雪することにしてあります。

町では、この冬の除雪に備え、九月に除雪ドーザー一台を一千二百四十三万二千円で購入。除雪機動力はグレーダー、ブルドーザー、ロータリー除雪車、スノーローザなど、計十台とゲンとアップしました。しかし、町の除雪車だけでは

百八十キロの除雪は困難なため、八十キロを町の建設業者に委託して除雪することにしてあります。

道路への投げ捨てはやめましょう

町では、除雪のあった日は早朝から除雪にあたりますが、除雪能力をあげるため、例年のことですが次の点にご協力をお願いします。

道路や側溝に障害物がありますと、除雪能力が低下するばかりでなく、その部分が除雪できまじいようにせんので、さまざまなものは置かないように。

車が故障などのため、すぐ路上

から移動できないときは、くいを立て赤い布などで注意表示をするように。

除雪により屋敷内に入った雪、屋根から降した雪は、各家庭で責任をもって排雪、道路には押し出さないように。

道路上に低くかぶさっている木の枝は、除雪車等の運行に支障のないよう処置するように。

なお、除雪に関するお問い合わせ、連絡は役場建設課(電話二二二一―一番)にどうぞ……。

雪捨ては建設会館前の綴子川へ

雪捨て場所として、例年どおり綴子川右岸、鷹巣陸橋下より下流柳生橋の間(建設会館前)が指定されましたので、道路などに雪を押しださないで、指定の場所に捨ててください。

なお、例年、一部心ない人が雪といっしょにごみを捨て、関係機関から注意を受けています。このようなことはやめてください。

農道坊沢・大向線 冬期間通行止め

農道坊沢(大向線)坊沢伊勢堂(大向部落間)は、積雪の期間中通行止めとなりますので、ご承知ください。

なお、う回路は、県道鷹巣(木戸線(川口)小ヶ田経由)をご利用ください。

書きぞめ大会のご案内

新年の書きぞめ大会を次により開催いたしますので、お気軽に参加ください。

日時 一月六日 午後零時 半から

会場 鷹巣体育館

課題 自由(大きさも)

出品 一人一点

審査部門 幼児、小学校、中学校、高校、一般の五部門

入選発表 当日会場で表彰

用具 用具、紙、手本など 一切各自で持参してください。

作品返却 作品はお返ししないことを原則とします。八日から三十一日まで、公民館に展示します。

参加申込 一月五日まで鷹巣公民館に申し込みください。

読書感想文コンクール

第十六回鷹巣町読書感想文コンクールを次により行いますので、多数の応募をお待ちします。

応募資格 小学校、中学校、高校、一般の四部門

課題図書 特に定めませんが、教科書、雑誌は対象としません。

字数 小学校の部は四百字

応募先 鷹巣公民館

詰原稿用紙三枚以内、その他の部は五枚以内

応募締切 五十六年一月末日

入選発表 五十六年二月下旬

表彰 特選、入選、佳作、(各部門とも若干名)

出かせぎ者激励集会のご案内

町では、出かせぎ者の正月帰郷者を対象に、次により激励集会を開催しますので、ぜひ出席くださるようご案内いたします。

日時 一月四日午後一時から

場所 鷹巣公民館ホール

不明な点は、役場商工観光課へお問い合わせください。

お知らせ
お知らせ

営農大学生募集

秋田県立営農大学校では、五十六年度学生を次の要領で募集いたします。

受験資格は、農業後継者として卒業後直ちに就農することが確実と見込まれる者(現に就農している者も含む)および将来就農を志す者であつて、高等学校卒業以上の学歴を有する者(三月卒業見込みの者を含む)、または同等の学力を有する満十八歳以上の者。
募集人員は、畑作園芸(畑作野菜・花き)、果樹、畜産(酪農・肉牛・養豚)の三部門で六十名。
修業年限は、二カ年。
願書受付は、十二月一日から五十六年一月三十一日まで。

保育園児申請受け付け

昭和56年4月より入所を希望する保育園児の受け付けを次により行っています。

①申し込み期間

12月1日から12月26日まで

②申し込み先

申請用紙を役場町民課福祉係か各保育園から交付を受けて、福祉係に提出してください。

③各保育園と定員…()内は3歳未満児

鷹巣保育園=90名(30名)

南鷹巣保育園=150名(45名)

七日市保育園=60名(12名)

綴子保育園=60名(12名)

中央保育園=90名(20名)

東保育園=60名(12名)

竜森保育園=30名(3歳以上児に限る)

④入園通知

2月下旬まで保護者に可否を通知します。

町立幼稚園の園児募集

町立幼稚園では、昭和56年4月入園の園児を次により募集しております。

①申し込み期間

12月1日から12月25日まで

②申し込み先

入園願書は町教育委員会と各幼稚園にありますので、交付を受けて幼稚園に提出してください。

③募集範囲

北幼稚園=綴子地区一円

西幼稚園=坊沢・七座地区一円

④募集人員

北幼稚園=40名 西幼稚園=40名

(昭和51年4月2日から52年4月1日までの出生者)

⑤入園通知

2月下旬まで保護者に可否を通知します。

工業統計調査にご協力を!!

製造業を営むみなさん、今年も恒例の「工業統計調査」が行われます。

十二月三十一日現在での調査のため、年末年始のお忙しい中を調査員がお伺いしますが、ご協力くださるようお願いいたします。

みなさんにご記入いただいた調査票は、統計以外の目的に使われ

入学試験は、五十六年二月二十日、場所は秋田県庁正庁。
入学希望者は、鷹巣農業改良普及所(電話二一八三五)で受験手続きをしてください。くわしいことについても、同所へお問い合わせを。

停電のお知らせ

十二月十八日から二十六日までの期間、次の地区が作業のため停電となります。

▽18日||根木屋敷、小中学校、農協、保育所(午前九時から午後一時まで)

▽25日||藤株、小森、坊山、湯ノ岱(午前九時から午後一時まで)

▽26日||松原、珪藻土全部(午前九時から正午まで)

新町内協力委員紹介

▽鷹巣地区
栄町 三日田 武男

年末年始防犯運動

—期間 12月11日~1月5日—

運動の重点

- 強盗・ひったくり事故防止
- 少年の非行防止、たまり場の解消
- 飲酒運転、交通事故防止
- 暴力的迷惑行為の追放
- 初詣などの行事に伴う事故防止



ひったくり事故防止

鷹巣地区防犯組合
鷹巣警察署

「広報紙のなから」 一年を振り返る

十二月は一年のしめくりと新しい年を迎える準備を含めて、なんとなくそがしい月です。そのなんとなくそがしいのと心のせわしさにふり回されないために、まず自分に合わせた計画表を作ってみてはいかがでしょうか……。広報紙のなから、ことし一年の主な出来事を抜粋、振り返ってみることにしました。

一 月 (睦 月)

- 1日 新春交流会
- 4日 出初式(桜庭与一郎(鷹巣)山城忠治(七日市)の両氏に有効章、全県大会優勝の坊沢分団を特別表彰)
- 5日 出かせぎ者激励集会
- 5日 新年書きぞめ大会(参加者が多いため会場を体育館に)
- 8日 石倉山スキー場にロープウェイが完成
- 11日・12日 全県高校新人選抜バレーボール大会
- 13日 第十一回全国実業団バレーボールリーグ秋田大会
- 19日 鷹巣阿仁部の医療を考える集い
- 24日 七座簡易水道竣工式

二 月 (如 月)

- 1日 町民税の申告始まる
- 3日 第十八回町民スキー大会(選手・役員・応援団など三千人が参加)
- 15日・25日 定例町議会(新年度予算一般会計三十六億九千二百万円余に、国保会計は九億五百万円)
- 17日 第十七回町民卓球大会
- 21日 保健指導員・結核予防婦人会研修会
- 23日・24日 大館・北秋田生活工夫展
- 24日 農業青年研究集会(農業経営の発想の転換などについて話し合い)

三 月 (弥 生)

- 25日 むし歯のない子の表彰式
- ▽二十八日、二十九日の二日間、住居表示の公聴会(変更請求の異議申し立てのあった三街区について六人が公述)
- ▽米の消費拡大会議で、米飯給食の試食会を実施
- ▽ロータリークラブの招きで、豪州からスザンナさんが鷹巣農林高校に留学
- ▽五十四年度県学校造林、学校環境緑化コンクールで、鷹巣中学校と中央小学校が環境緑化の部で知事賞に輝く
- 2日 入学おめでとう大会
- 3日 町連合青年会の「町行政を語る会」
- 8日 読書感想文コンクール(特選は十一人で、最優秀賞は南中の畠山美由紀さん)
- 11日 住民と役場のパイプ役・協力委員全体会開く
- 19日 町議会議員選挙(投票率は九十一・二五%、トップ当選は今川清太郎氏)
- 24日・25日 職場のマナーや応待など、新入社員の講習会が開く

四 月 (卯 月)

- ▽米の消費拡大をめざして、町の生活改善実行グループ連絡協議会で、六日寿司づくり講習会を開催
- ▽二十三日に「雪国を見直そう」をテーマに、「秋田と雪」のシンポジウムが開かれる
- ▽相馬文夫さん(西横町) 献血功労で銀色有効章
- 1日 臨時町議会(一般会計は三十七億三千万円余に。議長に村上儀八郎氏、副議長に藤内政雄氏を。畠山助役・河田収入役を再任)
- 4日 町内各小中学校の入学式
- 23日 七座体育館竣工式(総事業費は五千九百二十八万円)
- 26日 第十八回河田杯マラソン大会(二百七十人が健脚を競う)
- ▽五日の夜半から六日まで降り続いた雨は、当町で九十センチを記録、それに加え山間部の融雪が加わり、米代川を始め各河川は警戒水位を突破。家屋の浸水六十九戸など総被害額は三億三千万円余り)
- ▽藤林遺跡の本格的な発掘調査始まる。期間は四月二十四日から九月三十日まで
- ▽ブラジルから七日市大畑出身の畠山仁市さん親子が里帰り
- ▽春の叙勲で金沢多蔵さんが藍綬褒章、桜庭与助さんが勲七等青色桐葉章を受章
- ▽十三日に無事故を願って交通安全全仮装行列

五 月 (皐 月)

- 3日 園遊会
- 4日 町内河川のクリーンアップ
- 7日 社会保険事務所庁舎落成式
- 9日 保健指導員・結核予防婦人会



- 12日・21日 臨時町議会(大野尻、蟹沢線舗装工事請負契約締結、町税条例の一部改正)
- 15日 知事との行政懇談会(行政の事務簡素化を要望)
- 16日 町内小学校の交歓陸上競技大会(五つの大会新)
- ▽県内初の全天候型陸上競技場(第二種)完成(総事業費約四億一千万円。トラックは一周四百メートルで八コース、路盤は特殊合成ゴムのレジライト。フィールドには走幅跳、走高跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、槍投などの競技施設を整備。二十五日に認定)
- ▽県自然環境保全審議会で、栄地区の鞍山風穴を自然環境保全地域に指定。植物群落の保護対策や乱開発の防止を図る)
- ▽十七日から八月二十三日まで、毎週土曜日「歩こう会・走ろう会」を開催

六 月 (水無月)

- 6日 9日 県高校総体陸上競技大会 陸上競技場の竣工記念を兼ねて開催、千五百人参加
- 14日 消費者の会が設立総会
- 吉野子どもの村に「ガールスカウト隊」が誕生
- 22日 衆・参両院同時選挙、衆議院議員の投票率七十三・一〇%
- 25日 7月4日 六月定例町議会 一般会計四十三億四千万円余に。綴子簡水二カ年継続で着手。住居表示を再提案・特別委員会を設置
- 29日 交通安全子ども自転車大会 鷹小Aチームが優勝
- 北秋中央病院が十九日付で救急指定病院に。医療体制をさらに充実させスタート

七 月 (文月)

- 4日 6日 県民体育大会バスケットボール大会
- 11日 旭町の共同墓地移転で合同供養式を挙行
- 12日 町内小学校バレーボール大会で中央小学校が優勝
- 13日 全日本六、九人制クラブカップバレーボール県大会
- 13日 14日 町内小学校野球大会で西小学校が優勝
- 18日 20日 全県中学校陸上競技大会 鷹中女子が総合で初優勝
- 20日 第二十五回家庭婦人バレーボール大会 舟場、綴子C、上舟木が各ブロンズで優勝
- 26日 全県中学校総合体育大会で鷹中男子バレー部が三年連続優勝
- 27日 全日本大学選抜相撲秋田大会 日大が五度目の優勝
- 婦人ボランテアグループが目の不自由な人たちに「声の広報」を発行
- ▽青空市場が二十三日、五周年記念セールで米をプレゼント
- ▽映画「マタギ」に出演の子役のオーディションで、当町から東小の小川くん、西小の長崎さんが選ばれる

八 月 (葉月)

- 8日 9日 スポーツ少年団野球大会で鷹巣小学校が優勝
- 8日 20日 臨時町議会 綴子簡易水道改良工事と綴子基幹集落センターを請負契約、冬將軍に備え除雪ドーザーを購入
- 15日 成人式 三百六十三人が大人の仲間入り
- 17日 全町子ども会相撲大会で舟場チームが五連勝を飾る
- 31日 第十八回町民体育祭 三千人が参加、総合優勝は綴子
- ▽二十一日、二十二日の二日間、住居表示の公聴会 町名変更請求のあった三街区について、学識経験者など九人が公述
- ▽十五日から三日間、無形民俗文化財に指定された綴子大太鼓の記録保存の撮影が行われた
- ▽十九日に西横町・能代北高三年 畠山順子さん、旭町・鷹巣農林高校二年今野郁子さん、ロータリークラブの交歓留学生としてアメリカ合衆国に一年間留学に

九 月 (長月)

- 7日 鷹巣阿仁部家庭婦人バレーボール大会で綴子婦人会が優勝
- 8日 成田直衝翁の胸像が完成、児童公園で除幕式
- 24日 10月3日 九月定例町議会 一般会計は四十五億九千万円、新住居表示は継続審議、一億円は財政調整基金に積立
- ▽稲の不稔、登熟不良などの被害が増え、町では四日、稲作冷害対策本部を設置、共済金の早期支払いなどを要請
- ▽十五日の敬老の日を中心に、各地区で敬老式を開催、当町の七十歳以上の方は男七百三十四人、女一千十五人、昨年より七十九人の増
- ▽四日から開催の県畜産共進会で、摩当 小坂吉三さんの肉用牛が最高の農林水産大臣賞を受賞
- ▽七日市出身の郷土史家、長岐喜代治氏(69・秋田市在住) 小猿部物語を発刊

十 月 (神無月)

- 8日 副知事冷害状況視察
- 10日 第十六回町民駅伝大会 綴子青年会九連勝、東北電工六連勝と連勝記録を延ばす
- 鷹巣陸上競技場の竣工式
- 30日 公民館学習者発表交流会
- ▽国勢調査の結果、新町発足(昭和三十年)以来減少を続けていた人口が、今回始めて前回(昭和五十年)を上回り、男一万二千百十四人、女一万二千九百五十一人、計二万五千六十五人の三百二十三人増
- ▽藤株遺跡の発掘終わる。予想以上の出土品があり、縄文時代の生活様式が解明されるものと期待

十一月 (霜月)

- 3日 大北クロスカントリー中央公園大会
- 8日 鷹巣女子学院三十周年記念式典
- 鷹巣・阿仁部防災訓練 火災を想定して本番さながらの防災訓練
- ▽二十一日の最終審査で、県の健康優良児に鷹巣小学校の藤木正文くんが選ばれる
- ▽町営住宅二十四戸南鷹巣に完成



▽葛黒に林業センター(総事業費一千五百四十四万三千円)、上舟木に生活センター(総事業費一千二百九十七万二千円)がそれぞれ完成。地域の生活環境整備とコミュニティ形成のための研修などに活用。上舟木生活センターは二十五日竣工式



▽秋の生存者叙勲で、渡辺勝蔵氏が教育功労が認められ、勲五等双光旭日章を受章

- 14日 南小学校校収穫感謝祭
- 16日 全県家庭バレーボール大会 鷹巣愛好会が一部において初優勝を飾る
- 17日 商工会法施行二十周年記念祝賀会
- 20日 童巣小学校校収穫感謝祭
- 22日 婦人芸能祭
- ▽一三日文化祭・産業祭 期間中の悪天候にもかかわらず、一万余人の出入を記録。初の試みである産業祭は、陳列物の多様性、技術のすばらしさで好評であった。
- ▽自衛隊の応援を受け黒沢峠の切り下げ掘削工事完了、七日引渡式

身近な相談相手

『新しい民生児童委員に六十四名』

社会福祉の増進に期待

任期満了にともなう新しい民生児童委員が、十二月一日付けで厚生大臣から委嘱を受け活動を開始しております。

民生児童委員は、不幸にして恵まれない方や、自力では解決できない大きな悩みで苦しんでいる方々を力づけ、問題解決の糸口を一緒に考え、みなさんの手助けをするのが大きな役目です。みなさんの悩みごとを気軽にご相談ください。

十二月一日付けで厚生大臣から委嘱を受けた当町の民生児童委員は六十四名。内、男三十八名、女二十六名で、任期は三年です。民生児童委員は、担当する区域内の実情を調査したり、母子家庭やお年寄り、身障者のいる家庭などを訪問して、みなさんから寄せられているいろいろの相談を受けたほか、経済問題や福祉に関する問題のほか、あらゆる心配ごとや悩みごとのよき相談相手となるほか、地域のみなさんと協力しながら児童の健全育成、事故防止運動など、さ

さまざまな活動もすすめています。新しい民生児童委員と担当区域は次のとおりですので、お気軽にご相談ください。

- (一) 内は、担当区域です。
 - 〔鷹巣地区〕
 - 近藤与治助(材木町、駅前、東仲通) 沢田ミヨ(末広町、新松葉町) 伊藤義直(松葉町、福住町) 佐藤留治(太平町、北新町)
 - 佐藤弘夫(栄町) 浜松正巳(西仲通) 九島令米代町、花園町 戸嶋佐喜子(旭町) 亀山米蔵(東旭町) 佐藤弘(桜木町、三吉町) 二階堂ミツ(西旭町) 佐藤良市(東住吉町、西住吉町) 成田郁子(東横町、西横町) 佐藤忠治(舟見町、新舟見町) 成田カナ(学校通) 六戸祥好(仲町、幸町) 高橋トシ(新旭町)
 - 亀山要吉(南鷹巣三十三区・三十一区) 永井孝行(南鷹巣三十三区・三十三区) 河田文男(元新町、大町) 下野愛禅(あけぼの町)
 - 永井永治(伊勢町、森館町) (綴子地区)
 - 武内フク(上町) 藤島キク(下町) 佐藤ミチエ(田子ヶ沢、小田、松原) 亀山堅逸(二本杉、

- 岩谷) 小笠原敏(大畑) 亀山君子(向黒沢) 出川博子(糠沢、旭ヶ丘団地) 亀山末四郎(前野団地、大堤、昭和) 工藤勝(田中) 大川孝造(新田中、南田中) 金沢三治(掛泥古閑) 村上ヒロ(掛泥) 村上孝四郎(高野尻、高野尻団地)
- 〔栄地町〕
 - 松尾政雄(太田) 松岡定雄(摩当) 田村広土(大沢、李岱、岩坂) 亀山博(田沢)
- 〔沢口地区〕
 - 佐藤正義(四渡、坊山、湯ノ岱) 亀山トヨ(小森、中屋敷) 本間三義(脇神、上野) 亀山慎之助(藤株、小摩当) 小塚福治(堂ヶ岱、高村岱) 中島末治(舟場) 中島雅(小ヶ田、川口、湯車、佐助岱)
- 〔七日市地区〕
 - 藤本久恵(松沢、明利又) 鈴木宣武(上舟木) 亀山憲(三ノ渡、与助岱、黒森) 佐藤健一(深沢、下舟木、吉ヶ沢、品類) 佐藤ツヨ(妹尾館、中畑、大畑) 九島静枝(岩脇、吉野、横淵) 堀部ナカ(葛黒) 佐藤忠治(七日市、根本屋敷)
- 〔七座地区〕
 - 大川静江(黒沢) 野呂重光(前山) 成田良子(今泉)
- 〔坊沢地区〕
 - 津谷清助(深閑) 佐藤七三郎(相善町) 津谷フミ(羽立) 能登谷キヌ(上町、大町) 佐藤信一(街道町、新屋敷町) 桜庭角藏(蟹沢) 成田与五郎(緑ヶ丘)

便秘

適度な運動で腸に刺激を



快眠、快食、快便は健康の三原則。朝の排便でさわやかな一日を過ごしましょう。

便秘そのものは病気ではありませんが、不快感をとめないままです。また体のどこかに病気があ

▽注意が必要な便秘は△ 毎朝一回排便があると理想的です。個人差があり二、三日に一回という人もいます。排便が習慣的にきちんとならば、不快感がなければ心配はいりません。

▽便秘の原因は△ 多くは腸の緊張力、あるいは腸の運動の低下によって起き、これを常習便秘といいます。腸の炎症や、腸に隣接する子宮や



▽便秘をなくすには△ 常習的な便秘なら、適度の全身運動で腸に刺激を与えることが第一です。とくに運動不足になりがちな主婦、一日中机に向

朝、起きぬけに冷水か牛乳をコップ一杯飲むとか、ゴボウ、サツマイモ、海草など繊維質の多い食品を多くとるのも効果的です。また、便意を感じたら我慢をしないように――。

未登録・未注射の犬は 必ず受けましょう

秋において狂犬病予防注射を受けない飼い主が多いため、今回特に秋の予防注射を受けなかった犬を対象に、再度登録と注射を実施しますので、下記指定場所で必ず受けてください。

※料金は、一頭につき注射済料金1,200円。

実施月日	集会場所	集合場所	
12月21日(日)	一 班	七 日 市 農 協 前 9.30 ~ 9.50	
		小 森 会 館 前 9.55 ~ 10.15	
		脇 神 会 館 前 10.20 ~ 10.35	
		藤 株 会 館 前 10.40 ~ 11.00	
		南 鷹 巢 会 館 前 11.05 ~ 11.25	
		川 口 会 館 前 11.30 ~ 11.45	
		緑 ケ 丘 会 館 前 11.50 ~ 12.00	
		今 泉 会 館 前 13.00 ~ 13.20	
		前 山 会 館 前 13.25 ~ 13.40	
		上 町 西 部 農 協 前 13.45 ~ 14.05	
		田 中 会 館 前 14.10 ~ 14.30	
		二 班	役 場 裏 車 庫 前 9.30 ~ 10.00
			福 住 町 陸 橋 下 前 10.05 ~ 10.25
			上 町 児 童 館 前 10.35 ~ 10.55
前 野 会 館 前 11.00 ~ 11.20			
糠 沢 農 協 倉 庫 前 11.25 ~ 11.45			
高 野 尻 会 館 前 13.00 ~ 13.15			
太 田 児 童 館 前 13.20 ~ 13.40			
摩 当 生 活 セ ン タ ー 前 13.45 ~ 14.05			
掛 泥 会 館 前 14.15 ~ 14.30			
あ け ぼ の 町 会 館 前 14.35 ~ 14.50			



九島氏の水彩画展を開催

益金は歳末 たすけあいに

「歳末たすけあい運動」の一環として、今年も九島寮二さん(一線美術会委員)のご好意により「水彩画展」を十二月十二日から二十二日までの十一日間、鷹巣公民館サロンで開催しております。九島さんは、ご承知のとおり広報おしらせ欄に、毎回カットを描いていただいております、また去る十一月九日には一線美術会の会員から委員に推挙されたばかりで、将来得ますます期待されております。

水彩画は、額ともで一万円でお分けし、その益金は町の社会福祉協議会に贈ることになっております。購入希望者は、備え付けの用紙に、希望する画の番号、住所、氏名、電話番号を記入のうえ、投箱してください。希望者が多い画については、十二月二十三日に抽せん、該当者にご連絡いたします。(電話二一一一番)におたずねください。

元日に綱引き大会

鷹巣地区スポーツ振興会が主催する「第三回ばりじょっこ(綱引き)」は、元日の午前零時から役場前道路で開催されます。

税金を納めて明るい お正月を迎えましょう



~12月は固定資産税
第3期分の納期です~

中小企業の皆さんへ 信用保証協会が 借入を保証します

金融機関から事業資金を借り入れたいが、担保力、信用力などが不足している、借入れが難しいという中小企業者の方も少なくないと思われませんか。このような中小企業者のために、信用保障協会では、皆さんの借入債務を金融機関に対して保証しています。保証の対象となるのは、協会の区域内で、商業、工業、運送業、サービス業その他の事業を行う中小規模の事業者及びその組合などです。保証の条件は、保証限度が中小企業者一人当たり八千万円(組合一億五千万円)となっております。なお、この一般限度のほか、公害防止関係保証については二千万円(組合四千万円)、新技術企業化関係保証については一億円(組合二億円)、近代化関係保証については三千万円(組合五千万円)——などとなっています。保証料率は、一般保証が保証額の約一%で、このほか金額別の低保証料率を設けている場合があります。保証の申し込みは、大館市字三の丸、秋田県保証協会大館支所(電話大館四九二二八)に直接申し込むか、貸付けを受けようとする金融機関を通じて申し込むこととなります。詳しくは保証協会にご相談ください。

物の豪華より 心の宴を

結婚披露宴合理化県北集会



結婚披露宴合理化推進のモデル指定を受けて、昨年結成された鷹巣町生活合理化運動推進協議会は、十一月二十五日、公民館ホールで県北ブロック研究会を開催した。当日は、県北各地から約百二十名が参加、料理や記念品の展示物を見、合理化をめぐる意見の交流を熱心に聞きあった。

会費制の実践発表

実践発表では、「模範結婚披露宴を実施して」鷹巣町連合青年会長三沢博隆氏が、指導の地位ある人が仲人の時は会費制で申し合わせるしてほしい。協議会は当事者への啓蒙と世話役をつとめてほしいと要望。

「会費制披露宴を実施して」七日市・佐藤直一氏は、先日、公民

結婚披露宴合理化運動推進 県北ブロック研究会

館で長男の結婚披露宴を六千円会費で実施した。内訳は料理三千五百円、オニギリ六十円、記念品九百七十円、飲みもの六百円、会場費二百五十円、印刷費二百円、雑費四百二十円。県外からの参加者から、料理がすばらしいとほめられた。

「推進協議会を結成して」協議会調査部長・相馬文夫氏は、新成人の意識調査から、費用は親と半々が(女五十二%、男三十六%)会費制が良いことだが難しいが(女六十%、男六十二%)披露宴に来てもらいたい人は、親、兄弟、親戚、友人、職場の人、上司の順

感動的な本音の出し合い
ロールプレイング(会費制をめぐる家族会議の寸劇) 父親・河田

五郎氏、母親・永井蓉子氏、長男田村信夫氏、長女・野呂浜子氏。山田家では昨年、長男の結婚披露宴を青年会の世話で会費制で実施した。このたび長女の縁談がまとなり、近々結婚式を挙げることになり、本人同志は兄と同じように会費制でやりたいという。父親は「あの時は親戚の人にはずかしかつた。世間ていを考えろ」と頑強に反対、母も「親戚の人にケチだと思われたくない」と同調。息子と娘は「見栄を張って無駄と無理をして何になる。親父の結婚でないから、任せてほしい」と言うが、「親の心をわからないのか」と叱られる始末。この本音のぶつつけ合いに会場は爆笑する。

ふみきれないのはなぜか

シンポジウムでは「合理化の考えはわかって、ふみきれないのはなぜか」をテーマに、鷹巣町生活合理化推進委員小塚邦雄氏の司会で、県生涯教育センター副所長荒谷浩氏、阿仁町公民館長長飛沢真一氏、県北新聞社編集長嶺脇新一氏、鷹巣町連合婦人会長中島喜代氏、鷹巣町役場職員佐藤祥子氏、県新生活協議会副会長小林大二郎氏から、それぞれ意見が出された。昔からの淳風を尊重し、上からでなく民間運動とすること▽指導の立場の人は先づ模範を示すこと▽会費が適当かどうかを考えること▽披露宴と今後の生活設計との結びつきを考えて、等々が出されました。

部落訪問



あげのした
＝揚ノ下＝

十一月二十七日午後、天気がよかったので揚ノ下部落を訪問することにした。明利又線をまわり、途中、竜森小学校に寄り校務員の鈴木幸光さんから大体的なお話を聞き、更に上舟木部落自治会長・相馬瑞郎さん宅にも寄りお話を聞く。

この集落は、小猿部川の支流品類川の上流(役場から約十九里)にあり、川は更にここで二つに分かれ、東南に大舟木沢、西南に小舟木沢をつくる。西へ進み、峠を越すと、すぐそこに阿仁合線、桂瀬駅がある。また東の方は橋を渡ると四、五百米の所に上舟木部落がある。

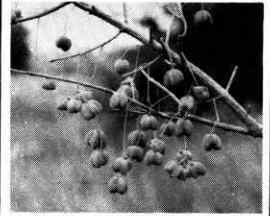
集落は時に来え、時には消え去るもので、この集落についても、六郡郡邑記(一七三〇)に「上ヶ下村二軒」とあり、また「小舟木沢鉦山、享保六五年(一七二二)よりの山也、家八軒」とある。最も多い時で九軒であったが、戦後は急速に過疎化が進み、現在は僅か二軒を残すのみとなった。そのうちの二軒が鈴木幸光さんの家である。



今、県道、桂瀬(笹館線と、岩脇)揚ノ下線の交差点となっているが、昔は、沢づたいに歩いたもので、川の交差するここには阿仁方面から比内方面に出る道路の関所があったのではないかとされている。鈴木さんは、「今は町に出るにも便利になったが、町村合併の時は距離の近い森吉町からの誘いが激しく、大変なものであった」と、相馬さんは「昔、浦田の肝煎が藩に出した小舟木鉦山採掘願書に、人夫が年に千数百人を要すると書いてあるのを見たことがある」と語っていた。

この人々は、昔から上舟木部落の人々と生活を共にし、広大な国有林を相手に炭焼きや造林の仕事にはげんできた。水田の面積は町に出た人々の分も含めて、現在は一戸当り一・五haである。(公民館長 長崎 久)

みんなの広場



まゆみ

山地にまれに見られる低木。庭木として植栽される。実の紅色が美しい。

(理科教育センター 阿部達雄先生)

「遠野物語」の里を訪ねて

米代町 菊地みどり(50)



昔、郭公と時鳥は姉妹でした。郭公は妹思いの優しい

姉でした。ある時、芋を掘って焼き、自分は外側の固い部分を食べ、妹には柔かなおいしいところを食べさせました。妹の時鳥は疑い深く、姉の郭公がよりおいしいところを食べたであろうと、姉の腹を包丁で切り

り裂きました。この時、姉の郭公は忽ち鳥となり、「ガンコ(堅い)、ガンコ」と啼いて飛び去りました。包丁で切り裂いて見た妹は、悔恨に堪えず「ホーチョカケタ、ホーチョカケタ」と啼く鳥になってしまいました。(遠野物語より)

読書会の第十一回文学散歩は、去る十月二十五、二十六日、遠野市へ旅しました。遠野は、花巻から東へ五十き余り、釜石との中間に位置する大きな盆地で、人口三万一千余、遠野物語の里であると共に、教育文化のモデル都市です。初日は、公民館、市民会館、勤労青少年ホーム、体育館、プール等が一連にある市民センターと、図書館、博物館を見学しました。公民館には、画家草間正男氏作



うちのおばあさん

わたしのおばあさんは、足が悪いので、あんまり歩けません。だから、つえをつけて歩いています。

おばあさんが、とこやへ行く時や帰る時、わたしが手をひいてあげます。おばあさんの手は、わた

広報のしおり

カロリー

気温が一度下がると、ごはん一杯分のカロリーが余計いるといわれます。寒さを防ぐには、お部屋

品の遠野物語中の河童、雪女の絵ステンンドグラスがはめ込まれ、古鉄材を利用した動物達のオブジェが、人々に何か語りかけているようでした。

公民館の視聴覚室では、民話がかつて、世界各国がその粋を競った万国博の、一パビリオンに迷い込んだ錯覚さえ覚える程でした。翌日は、市民劇場の脚本家でもある小学校の菊池先生のご案内で、数多くの伝説の跡を訪ね、この方を通じて、市民がどんなに郷土を愛し、生きているかという熱意に触れて帰って来ました。

しの手を強くにぎります。その手には、しわがいっぱいありました。



中央小学校 3年 村上 稚香子

屋の暖房効果を増すことも大切ですが、十分な栄養をとって、からだの中からあたためることも大切です。よく「寒いから一杯やろう」と、お酒にカロリーを求めると、皮膚の表面から熱の放射がはげしくなるので、その効果はほんの一時のなものといえます。年末年始はどうしても外でお酒を飲む

機会が多くあります。報告によりまずと、肝硬変患者の五〇パーセント以上が病気になる前に、相当量のお酒を飲む習慣をもっているといわれます。そのことから蛋白質の不足とともにアルコールが肝硬変の原因のひとつと考えられています。

たかのす文芸

この太陽の下で

南中学校三年 佐藤 千佳

今、この太陽の下で

明日からは体験できぬ、光を求め

世界を見つめている

今、

私の青春は

一日一日と流れ去っていく

若い私の生命の

一つ一つの終わり

そうだ

この太陽の下でおもいっきり生きよう

鳥のように、木のように、風のように

今この時を大切にだきしめよう

こうしているだけでも

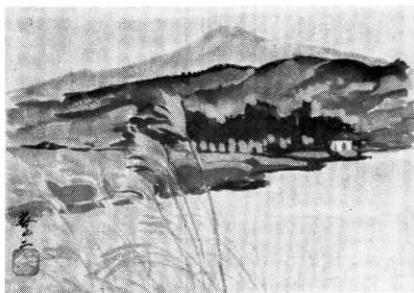
青春の思い出が出来上がるように

今、この太陽の下で

すばらしい人生の思い出をきざこう

詩

おしらせ



一線美術委員会 九鳥堂二氏

十二月の健康相談

成人健康相談は、二十四日です。時間は、午前九時から午後三時まで、鷹巣公民館保健相談室で行います。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

離乳食実習指導は、十九日、十五、五年五月生まれとなっています。時間は、午前九時半から。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

乳児健康相談は、十九日、十五年八月生まれとなっています。受付時間は、午後零時半から一時半まで。

※場所は、いずれも鷹巣保健所で

〈産休代替〉

タイピストの募集

役場では、職員の産休にともなう代替タイピストを募集します。希望者は、次により申し込みされるようお願いいたします。

記

- 1.雇用人員 女子1名
2.雇用資格 町内在住者で、和文タイプの経験者であること。年齢に制限ありません。
3.雇用期間 1月12日～5月15日
4.雇用賃金 月額 90,000円
5.申込受付 1月6日(火)まで履歴書持参のうえ、役場総務課に申し込みください。

「年末・年始」役場の仕事

※離乳食実習指導、乳児健康相談ともに十八日から十九日に相談日が変更されます。

年末・年始の役場関係の事務は、十二月二十八日から明年の一月四日まで休みます。

ただし、一部は次のとおり仕事をしていますが、なるべく二十七日前に用事をすませるようご協力をお願いいたします。

▽町民課戸籍係 二十九日の午後三時まで。印鑑証明等必要な方は、できるだけ早めに取りるようにしてください。
▽収入役室 二十九日の午後三時まで支払いを行います。

※場所は、いずれも鷹巣保健所で

年始は、一月五日より収集いたします。

善意

▽鷹巣スポーツ少年団父兄会(会長 仲谷茂明)の方々から、スキーマのチャリティーバザー収益金二〇、〇〇〇円

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。
ご芳志に深く感謝いたします。
▽上舟木 相馬瑞郎さんから亡母タニさんの香典返し 三〇、〇〇〇円

▽旭町 戸嶋幸男さんから亡母子ヨさんの香典返し 一〇〇、〇〇〇円
▽舟見町 阿部公能さんから亡父正雄さんの香典返し 二〇、〇〇〇円

▽田沢 亀山武さんから亡父長八さんの香典返し 二〇、〇〇〇円
▽吉ヶ沢 佐藤俊夫さんから亡父孫七さんの香典返し 三〇、〇〇〇円

年末のゴミ収集 12月27日で終わり

ゴミ収集は、二十七日まで日程表どおり実施します。

年末になるとゴミの量が多くなりますので、各家庭では計画的に整理し、休み期間中は集積所へ絶対にゴミを出さないよう、ご協力をお願いいたします。

また、冬期間はポリバケツ等は破損しやすくなりますので、集積所にゴミを出す場合はダンボールじょうぶな紙袋、ゴミ用ポリ袋に入れてください。

慶弔だより

11月16日～11月30日

誕生おめでとうございます

淡路 彩子(偕) 長女) 花園町 畠山 悟(勝美 二男) 李 偕

二人の前途を祝福いたします
深沢 恵介(修 長男) 掛泥
釜田 陽一(一 長男) 西旭町
畠山 純(昭夫 長男) 旭町

- 高山 清二 山形県
小笠原 サダ子 前山
浪岡 喜美雄 太田
山崎 和昭 太田
松尾 厚子 舟場
北林 昭子 舟場
工藤 悟子 二ツ井町
相馬 京子 高村岱
松尾 久美子 摩当
工藤 幸美 二ツ井町
正田 陽子 南鷹巣
最上 昇子 阿仁町
佐藤 弘子 横濱市
佐藤 憲子 東仲通
津藤 桂子 街道町
山田 恭史 田子ヶ沢
大宮 真紀子 西住吉町
成田 吉広 五城目町
斎藤 美美子 今泉
志渡 和男 合川町
佐藤 加奈子 阿仁町
石岡 豊子 与助岱
熊谷 順子 藤里町

おくやみ申しあげます

- 加賀谷イサ(70歳) 東旭町
亀山 長八(79歳) 田沢
米沢 勝郎(62歳) 糠沢
九嶋 福松(84歳) 高村岱
堀部 トヨ(83歳) 葛黒